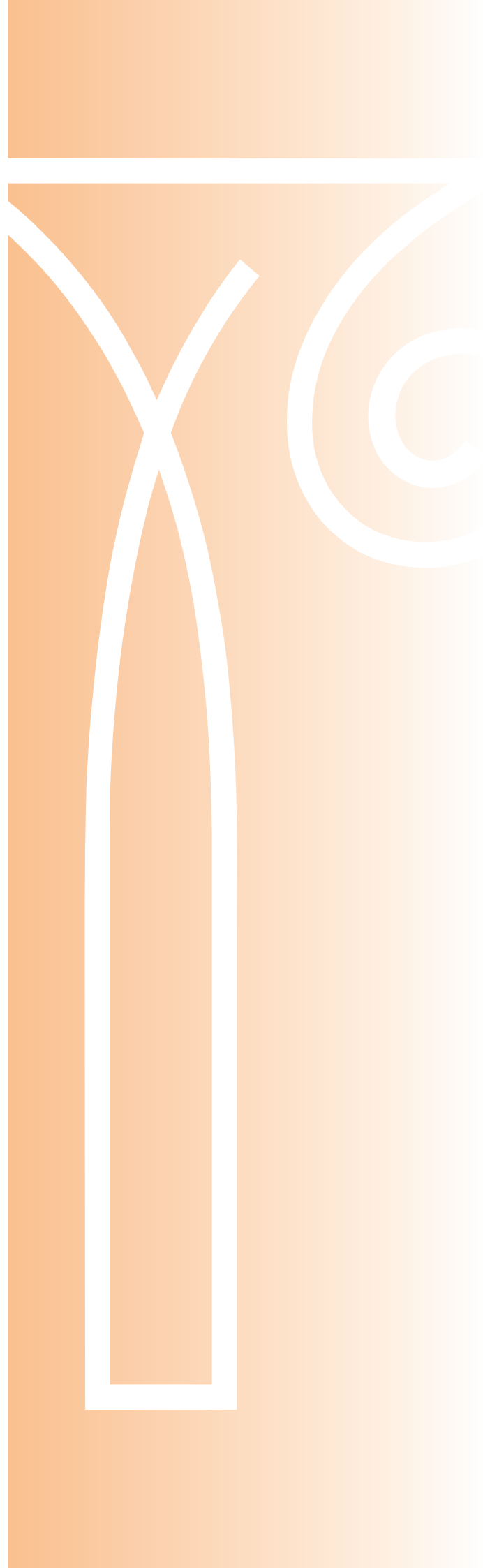


東京都庭園美術館
年報

2020

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM
Annual Report



はじめに

東京都庭園美術館は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2(2020)年2月29日から5月31日まで休館しました。そのため新年度の事業は、6月1日からの「建物公開展」で幕を開けました。ご来館くださったお客様には検温、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保など、さまざまなご協力をお願いして、ご不便をおかけしました。

各種事業も計画変更せざるを得ませんでした。展覧会につきましては、予定していた「奇想のモード展」を来年度に先送りしました。教育普及事業も、お茶会、障害者鑑賞ツアー、館長講座など回数を減らして実施しました。その一方でアフターコロナを見据えた、「わたしのイチオシ」などオンライン配信型のプログラムを充実させることができました。

令和2年度は当館の運営体制にとっては、開館以来の大きな変革の年となりました。「東京都庭園美術館条例」が都議会で可決されたことにより、当館は令和3年4月1日より、国の「博物館法」に基づく「公立博物館」として位置づけられることになったからです。これを機に、当館の基本方針は、「装飾芸術」を基盤とすることになりました。「装飾芸術」という視点から、当館は展覧会企画や、教育普及において、引き続き東京都の文化行政の一翼を担うべくユニークな事業を展開していく予定です。

なお、「東京都庭園美術館条例」の施行により、当館は他の文化施設と同様に指定管理者制度が導入され、公益財団法人東京都歴史文化財団が東京都指定の管理者として、施設の管理運営に当たることとなりました。

令和3(2021)年4月
東京都庭園美術館
館長 樋田豊次郎

目次

基本方針	1
令和2年度の東京都庭園美術館	2

各事業報告

1. 建物・庭園公開事業	4
2. 企画展示事業	10
3. 紀要の発行	21
4. 教育普及事業等	22
5. 美術品の収集	26
6. 広報事業	28
7. 美術館維持管理	30
8. 収益事業	33

令和2年度の実績

1. 入館者数	38
2. 広報・広告件数	38
3. 収益事業収入	38
4. 展覧会関連事業	39
5. 出版物	40

その他

組織図	41
展覧会実績一覧	42
施設配置図	48

基本方針

1. 基本方針

歴史的建造物と美術作品、庭園とが一体となった美術館として、歴史的価値の保護と新しい価値の創造を行い、都民に芸術作品の鑑賞の機会を提供し、東京都における芸術文化の振興を図るとともに、都民生活の充実に寄与していく。

1. 歴史的建造物の保存

国の重要文化財である旧朝香宮邸の建物と緑豊かな庭園を適正に管理し、その価値を広く社会に伝えていく。

2. 建物の特性を活かした美術館活動の実施

アール・デコ様式を今に伝える歴史的建造物とホワイトキューブの新館展示室との調和を図った多様な展覧会や教育普及活動を実施し、東京におけるユニークな美術館として旧朝香宮邸を活用していく。

3. 庭園の活用

都心には珍しい豊かな自然の残る庭園を整備するとともに、アートの視点からの活用を推進し文化的環境を創出していく。

2. 事業方針

東京都庭園美術館は下記の事業方針に基づき、質の高い事業を実施していく。

1. 重要文化財旧朝香宮邸の建物公開展を実施する。

2. アール・デコの美術および同時代の芸術文化を紹介する。

3. 装飾芸術における様々な分野を紹介する。

4. 東京都庭園美術館の歴史性あるいは空間的特色に基づいて、多様な芸術表現を取上げる。

令和2年度の東京都庭園美術館

令和2年

- 4月 1日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、4月は休館。このため4月7日ま
～30日 で開催予定だった「北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック アール・デコのガラス モダン・エ
レガンスの美」及び4月18日から開催予定だった「建築をみる2020 東京モダン生活 東京
京都コレクションにみる1930年代」を休止。庭園公開も併せて休止
- 5月 1日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、4月に引き続き5月も休館。庭園
～31日 公開も4月同様に休止
新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、外部評価委員会を書面開催
- 6月 1日 都内の美術館の休業要請が解除されたため「建築をみる2020 東京モダン生活 東京都
コレクションにみる1930年代」開幕
館のホームページ上で、委託業者を含むスタッフが自分の好きな場所等を紹介する動画シリーズ
「わたしのイチオシ」を公開開始。好評につきシリーズ化
- 10日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、第1回、2回東京都庭園美術
館コンサートを中止
- 28日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、第3回、4回東京都庭園美術
館コンサートを中止
- 7月 23日 暑さ対策として正門付近1か所、アプローチ3か所及び本館前1か所の計5か所にミストを設置
- 9月 26日 茶室ワークショップ「重文わかる茶会」を開催
27日 「建築をみる2020 東京モダン生活 東京都コレクションにみる1930年代」閉幕
- 10月 1日 「都民の日」庭園無料公開
6日 第5回、6回 東京都庭園美術館コンサートを開催
15日 自衛消防訓練
17日 「生命の庭-8人の現代作家が見つけた小宇宙」開幕
21日 第1回館長講座
24日 秋の呈茶
31日 THE TETORAPOTZ 仮面づくり&ライブパフォーマンスを開催
- 11月 5日 「生命の庭」展出品作家と来館者を結ぶ広報企画「作家への手紙」開始(～12/20まで)
6日 停電による臨時休館
20・21日 秋(紅葉)の夜間開館。27・28日、12月4・5日も実施
28日 茶室トークイベント「中村棟梁、茶室「光華」を語る」を開催
- 12月 2日 第2回館長講座
5日 「生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙」箱の中の庭ワークショップ第1回を開催
6日 「生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙」箱の中の庭ワークショップ第2回を開催
9日 障害のある方向け アート・コミュニケーターとめぐる特別鑑賞ツアーを開催



令和3年

- 1月 12日 「生命の庭-8人の現代作家が見つけた小宇宙」閉幕
- 13日 1月8日～2月7日まで緊急事態宣言が発出されたため、展示替え期間中である1月13日～29日まで庭園の公開を休止し全館休館
- 20日 第7回、8回 東京都庭園美術館コンサートを開催
- 30日 「20世紀のポスター[図像と文字の風景]—ビジュアルコミュニケーションは可能か?」開幕
「チコちゃんといっしょに課外授業 高橋克典と魅せる旧皇族邸の雅とジャポニズム音楽 feat. ららら♪クラシック@東京都庭園美術館」ネット配信開始(～2月26日まで)
- 2月 6日 14日まで「ティーチャーズウィーク」を開催。都内の小・中・高等・特別支援学校の教員を無料で展覧会に招待
- 9日 令和2年度美術品等資料収集評価委員会を開催
- 24日 第9回、10回 東京都庭園美術館コンサートを開催
- 3月 2日 令和3年4月1日から「東京都庭園美術館条例」施行及び公益財団法人東京都歴史文化財団の指定管理開始にあたり、収蔵作品・資料を東京都に寄贈するための外部意見聴取を開催
- 10日 緊急事態宣言の延長に伴い、「障害のある方向けアート・コミュニケータとめぐる特別鑑賞ツアー」中止
- 18日 2月8日～3月7日まで発出された緊急事態宣言が、さらに3月21日まで延長されたため、「第3回館長講座」(3月17日)は録画配信(無料)
- 21日 緊急事態宣言の延長に伴い、「やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム」中止
- 22日 令和2年度第2回定時理事会と臨時評議員会において財団(館)の保有資産を東京都に寄贈することが決定
- 24日 「ベビーといっしょにミュージアムツアー」を開催
自衛消防訓練
- 27日 茶室ワークショップ「重文わかる茶会」は、3月31日までの段階的緩和措置期間中のため中止

各事業報告

1. 建物・庭園公開事業

(1) 建築をみる2020 東京モダン生活 東京都コレクションにみる1930年代

期 間:2020年6月1日(月)～9月27日(日)[111日間]

主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

年間協賛:戸田建設株式会社、ブルームバーグ・エル・ピー

担 当:大木香奈、吉田奈緒子

来館者数:39,632人

※新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の発出を受け、会期を変更・延長して開催

※「建築をみる2020 東京モダン生活 東京都コレクションにみる1930年代」との同時開催のため、報告内容は、2.企画展示事業(2)「建築をみる2020 東京モダン生活 東京都コレクションにみる1930年代」を参照



(2) 旧朝香宮邸資料修復・復原

平成 25 年度に寄贈を受け、当館内で保管中であった家具資料の状態調査及び修復作業を実施した。

本資料は、『朝香宮邸新築工事録』(宮内省宮内公文書館蔵)中に記載されている若宮居間用の本棚と仕様寸法及びデザイン等が一致していることが収蔵時に確認されていたが、今回の作業の過程で改めて素材や技法上の特徴が明らかとなり、当時宮邸内で実際に使用されていたものと特定することができた。

修復は部材の劣化や腐朽が著しかった背面部を中心に、国産の本桜無垢材ほかオリジナルと同等の素材を用いて原型に復するかたちで実施し、展示活用に耐え得るよう十分な強度を回復させることができた。

今後、建物公開展等において活用予定である。





(3) ミュージアム・コンサート

クラシックのサロンコンサートを実施し、広く当館を知ってもらいきっかけとした。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため当初予定していた10回公演のうち4回の公演を中止し、残りの6回公演についても客席を半分に実施した。

【実施コンサート】

実施回数計：6回

参加者数計：204人



第1回 外山啓介 ピアノ・リサイタル

開催日：6月10日(水)14時開演

開催場所：新館ギャラリー2

公演中止

第2回 成田達輝 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：6月10日(水)18時開演

開催場所：新館ギャラリー2

公演中止

第3回 三船優子 ピアノ・リサイタル

開催日：6月28日(日)14時開演

開催場所：本館大広間

公演中止

第4回 藤原真理 チェロ・リサイタル

開催日：6月28日(日) 18時開演

開催場所：本館大広間

公演中止

第5回 伊藤悠貴 チェロ・リサイタル

開催日：10月6日(火) 14時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：38人

第6回 戸室 玄 ピアノ・リサイタル

開催日：10月6日(火) 18時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：35人

第7回 辻本 玲 チェロ・リサイタル

開催日：1月20日(水) 14時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：26人

第8回 山根一仁 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：1月20日(水) 18時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：28人

第9回 及川浩治 ピアノ・リサイタル

開催日：2月24日(水) 14時開演

開催場所：新館ギャラリー2

参加人数：38人

第10回 松本 蘭 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：2月24日(水) 18時開演

開催場所：新館ギャラリー2

参加人数：39人



庭園公開

植栽の管理に力を入れ、マツの害虫の発生により全てのマツに薬剤を注入する等の対応を図り、お客様が何時来館されても心地よい庭園として来館者に公開した。

今年度も「庭園パスポート」を販売し、芝庭、日本庭園、西洋庭園それぞれ趣の異なる庭園と茶室を楽しんでいた。

庭園公開日数 260日

庭園のみ入場者数 49,401人

庭園パスポート

販売数 400枚

入場者数 6,335人(同伴者1,653人を含む。※同伴者1名まで無料)





茶室活用

庭園公開事業の一環として、日本庭園内の茶室「光華」(重要文化財)の活用を行い、茶室建築及び茶の湯文化の普及に資した。

茶室ワークショップ「重文わかる茶会」

大寄せ茶会形式ではなく、お茶そのものにもっと親しみを持ってもらうために、実技や解説を交えたワークショップを実施した。本年度は「重文わかる茶会」と題し、茶会を知るための茶会を実施した。内容は、茶会に関する基礎知識を立礼席で説明したのち、露地の蹲(つくばい)の使い方の実技、広間にてお菓子の食べ方の実技を行った。最後に小間で講師から薄茶とお菓子が振舞われた。茶会の趣向が、その時々季節感、年中行事、時事の話題などを元に、亭主が道具や設えにさまざまな工夫を凝らしたものであることを理解してもらった。

第1回

2020年9月26日(土)

場所 茶室「光華」立礼席、広間、小間

講師 沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家)どちらも裏千家

参加者 一般公募35名(5席)

参加費 1名2,000円(入館料別途)、事前申込制(各会定員8名×5回、先着順)

第2回

2021年2月27日(土)実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

トークイベント「中村棟梁、茶室「光華」を語る」

茶室「光華」は「昭和の名工」とも言われた、大阪の平田雅哉が施工した数寄屋建築である。質素でありながら洗練された数寄屋建築は、それがゆえに一般的にはその魅力を読み解きにくい。そこで、数寄屋建築の名人であり、「大工の神様」と称された京都の棟梁、中村外二のご子息であり、自らも数寄屋大工の棟梁、そして外二から引き継いだ中村外二工務店の代表である中村義明氏に、平田建築の「光華」について現場で語ってもらい、その魅力や特徴を明らかにするというトークイベントを実施。レクチャーのあとには、広間でお菓子と抹茶を提供した。

2020年11月28日(土)

場所 茶室「光華」

講師 中村 義明(中村外二工務店代表/数寄屋大工棟梁)

呈茶 沼尻 真一/宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤 紗衣香/宗香(茶道家・裏千家)

参加者 一般公募27名(3回)

参加費 1名2,000円(入館料別途)、事前申込制(各会定員10名×3回、先着順)



呈茶

平成30年度以来、事前申込ではなく当日受付の呈茶を「春の呈茶」、「秋の呈茶」と題し、実施してきた。立礼席では干菓子と薄茶を、広間では点前付きで主菓子と薄茶を供していたが、令和2年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により「春の呈茶」は中止となった。「秋の呈茶」は実施したが、新型コロナウイルス対策として、当日受付ではなく事前申込制に、立礼席での呈茶は中止、定員は1席10名に変更した。

秋の呈茶

2020年10月24日(土)

場所 茶室「光華」広間

亭主 港区華道茶道連盟 磯崎宗翠(表千家)

参加者 一般公募33名(4席)

参加費 1名1,000円

情景再現

文化財建築の普及のため、通常開館日は立礼席まで立入りできるよう一般公開している。その中で広間には茶席の道具を配し、茶室の雰囲気味わってもらえるようにしている。配する道具は掛軸、花入れ、香合、茶碗、釜、茶筌、茶入れ、水指、建水等を展示し、季節に応じて展示替えを行っている。また季節に合わせて炉と風炉を入れ替えている。

茶室入室者:32,029人(茶会、ワークショップ等参加者を除く、2021年3月31日まで)



重文わかる茶会



中村棟梁、茶室「光華」を語る

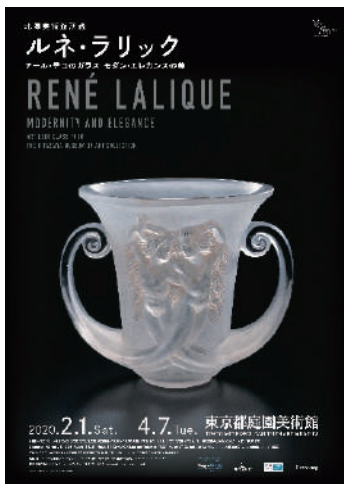


秋の呈茶



2. 企画展示事業

(1) 北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック アール・デコのガラス モダン・エレガンスの美



期 間:2020年4月1日(水)-4月7日(火)[7日間]

※平成31年度分:2020年2月1日(土)~3月31日(火)[56日間]

主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、
NHK、NHKプロモーション

特別協力:公益財団法人北澤美術館

後 援:在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本

年間協賛:戸田建設株式会社、ブルームバーグ・エル・ピー

監 修:池田まゆみ(北澤美術館主席学芸員)

担 当:牟田行秀、田中雅子

来館者数:新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止

※詳細については、平成31年度年報を参照



(2) 建築をみる 2020 東京モダン生活^{ライフ} 東京都コレクションにみる 1930 年代



期 間：2020年6月1日(月)～9月27日(日) [111日間]
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初の会期
 [4月18日(土)～6月23日(火)]から変更
 主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
 年間協賛：戸田建設株式会社、ブルームバーグ・エル・ピー
 担 当：大木香奈、吉田奈緒子
 来館者数：39,632人

概要

本展は、1933年に竣工した旧朝香宮邸（現・東京都庭園美術館本館）の建築としての魅力を紹介する、年に一度の建物公開展として実施した。この邸宅建築が生まれた1930年代の東京に焦点を当て、現代の東京に繋がる都市の原型が形作られたモダン都市・東京の時代背景と、新しい都市生活のスタイルや文化を受容し変化していくさまを読み解いた。

本館では家具調度を眺めて建物公開展恒例の空間再現展示を行い、新館では都立文化施設が所蔵する作品資料を借用し、今回のテーマに沿った内容でセレクトした絵画・家具・写真・雑誌・衣服等、多彩な東京都コレクション約140点を展示した。

関連イベント

ギャラリートーク（2回）、庭園でのミニコンサート等を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべて中止となった。

ハンドアウトの制作・発行

タイトル：建築をみる 2020 東京モダン生活（ライフ）

東京都コレクションにみる 1930 年代

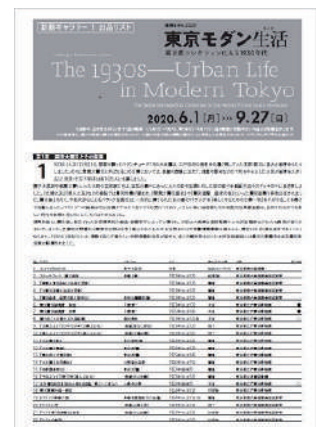
新館ギャラリー1 出品リスト

判型・ページ数：A3 二つ折り

執筆：大木香奈

編集：吉田奈緒子

制作：株式会社公栄社





展示会場





(3) 生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙



Garden of Life Eight Contemporary Artists Venture into Nature
 期 間:2020年10月17日(土) - 2021年1月12日(火) [75日間]
 主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
 年間協賛:戸田建設株式会社、ブルームバーグ・エル・ピー
 協 力:ムロマメ舎
 担 当:浜崎加織、田中雅子
 来館者数:34,877人

概要

本展は、緑豊かな自然に囲まれた旧朝香宮邸を舞台に、日本を代表する8人の現代作家たち、青木美歌、浅井裕介、加藤泉、康夏奈、小林正人、佐々木愛、志村信裕、山口啓介の作品を通して、人間と自然との関係性を問い直すものであった。大都会の中に佇む小さな箱庭のようなこの邸宅で、絵画、彫刻、映像、インスタレーションなど個性豊かな作品の数々が展示された。作家同士のコレボレーション展示、本館建物への映像投影、金庫内、渡り廊下、新館の窓等への作品展示、イベントのゲスト出演等、作家たちの意欲的な取り組みを得て、建物全体を使ったユニークな展示が実現し、コロナ禍の緊張感の中で人々の心を解きほぐすような内容となった。

関連イベント

a. THE TETORAPOTZ 仮面づくり&ライブパフォーマンス

日時:2020年10月31日(土)15時から *仮面制作は12時~14時
 出演:THE TETORAPOTZ、小林正人(本展出展アーティスト)
 参加人数:仮面づくり/83名、ライブ/約230名
 アーティストの指導を受けつつ仮面を制作し、できあがった仮面を被って、アーティスト率いるバンドの演奏を鑑賞

b. 「生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙」 箱の中の庭

日時:2020年12月5日(土)、6日(日)
 講師:山口啓介(本展出展アーティスト)
 新見隆(武蔵野美術大学教授)
 参加人数:18名
 本展出品作家山口啓介の「カセットプラント」を制作するワークショップ

関連インタビュー映像の制作

タイトル:「生命の庭」
 出演:青木美歌、浅井裕介、加藤泉、康夏奈、吉田貴子、小林正人、佐々木愛、志村信裕、山口啓介
 インタビュアー:浜崎加織(東京都庭園美術館)
 撮影・編集:丸尾隆一、田中雅子(東京都庭園美術館)
 コロナ禍の影響で休止となったトークイベントの代わりに、各作家のインタビュー映像を制作し、当館HP上で公開



展覧会カタログの制作

書名：『生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙』

編著：東京都庭園美術館

発行：株式会社青幻舎

所収論文：山内朋樹「都市の夢、生命の庭」

樋田豊次郎「東京都庭園美術館の現代美術を見る目あるいは
世界をひとつの全体的まとまりとして把握する思考法」

浜崎加織「生命の庭 8人の作家が導く生命の根源」



ハンドアウトの制作・発行

タイトル：生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙

判型・ページ数：A3両面印刷 2枚を重ねて二つ折り（綴じ無し）

掲載内容：会場見取り図、作品リスト、作家解説

執筆：浜崎加織、南島興

編集：田中雅子

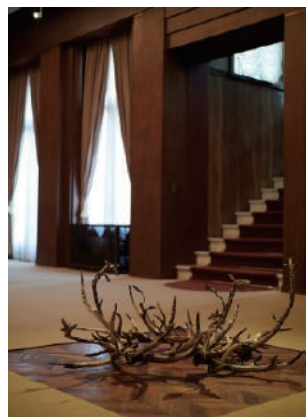
デザイン：須山悠理、島田耕希



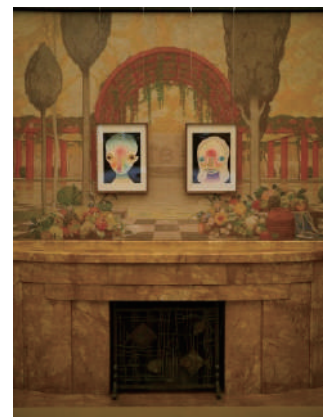
展示会場



青木美歌



浅井裕介
photo by mie morimoto



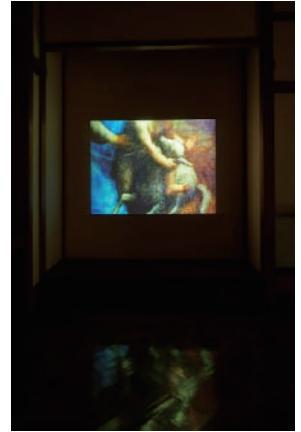
加藤泉
photo by mie morimoto



小林正人
photo by mie morimoto



康夏奈



志村信裕
photo by mie morimoto



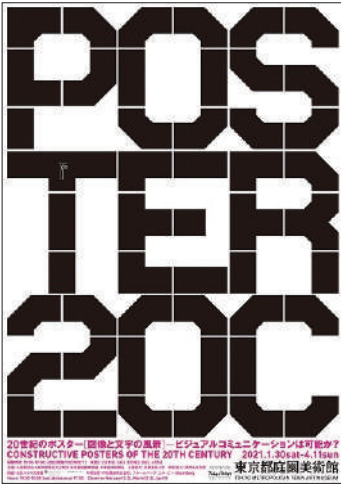
佐々木愛
photo by mie morimoto



山口啓介
photo by mie morimoto



20 世紀のポスター [図像と文字の風景] — ビジュアルコミュニケーションは可能か？



CONSTRUCTIVE POSTERS OF THE 20TH CENTURY

期 間：2021年1月30日(土)～3月31日(水) [57日間]

※令和3年度分：2021年4月1日～4月11日(日) [10日間]

主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、日本経済新聞社

企画協力：多摩美術大学

特別協力：株式会社竹尾

年間協賛：戸田建設株式会社、ブルームバーグ・エル・ピー

担 当：神保京子、田中雅子

来館者数：25,964人(令和2年度)

概要

1910～20年代のヨーロッパで生じ、芸術・デザインに革新をもたらした“構成主義”は、特にビジュアルデザインの領域において、図像と文字を幾何学的・抽象的な融和のもとに構成しようとする特徴的な表現様式をもたらした。エル・リシツキー、ヤン・チヒョルト、マックス・ビル、ヨゼフ・ミュラー＝ブロックマンなど、数々のアーティスト/デザイナーが時代を超えて共有したこの様式は、広くビジュアルデザインの可能性を拡張する試みとして発展を重ね、今日のビジュアルデザインの基盤を形成した。本展は、この潮流のもとに世に送り出され、時代を彩った“構成的ポスター”が、20世紀を通じて織りなした図像と文字の風景を、竹尾ポスターコレクション(多摩美術大学寄託)により辿った。個々のポスターが示す鮮やかな創造力、そしてそれらのポスターが総体として示す歴史的な継承と発展のプロセスを展覧した。

また、作品の展示に併せて、全展示ポスターの系譜を掲示したインフォグラフィックや展示構成の礎となった竹尾ポスターコレクション・データベース(TPC DB)を公開した。

関連イベント

a.「20世紀のポスター」展 ギャラリートーク

トーカー：佐賀一郎

(多摩美術大学ビジュアルデザイン学科准教授)

2021年3月12日(金)より、インスタグラム、YouTubeにて動画配信開始

本展監修者である佐賀一郎先生を講師としてお迎えし、本展の核となる「スイス派」の魅力を中心に、その思想的背景から歴史的プロセスを、作品のエピソードを交えて解説していただいた。





b. TamaEcal Instagram Workshop & Exhibition



在日スイス大使館の協力を得て、ローザンヌ美術学校 (ECAL) の関係者を講師に、多摩美術大学大学院生を参加者に迎えて、3日間連続のオンライン・ワークショップ「TamaEcal Workshop」を開催した。ローザンヌ、パリ、ソウルに在住する講師陣とのリアルタイムでのオンライン・ワークショップは実験的なものだったが、本展で紹介しているモダニストたちが確立した書体デザインが、今なお有効な技法・教育手段であることを示すこととなった。またワークショップでの成果物およびプロセスを当館の公式 Instagram で公開することで「オンライン展示」を実現した。Instagram のビジュアル志向な特性を活用し、実空間とは異なるかたちで構成的タイポグラフィーの最前線とその魅力を伝えるものとなった。

Day 1: モデューラー・タイプフェイス・デザイン (講師: チロン & チビン・トリュー)

Day 2: アルミン・ホフマンの流動的マトリックス (講師: エリオット・グルネヴァルド)

Day 3: コンストラクティヴ・タイプ (講師: キム・ナヨ)

c. ワークショップ「形と文字で遊ぶポスター」

開催日: 2021年4月3日 (土) 10:30~12:30 (令和3年度)

会場: 東京都庭園美術館

本館・新館展示室及び新館ギャラリー2

ファシリテーター: 大谷郁 (東京都庭園美術館 事業係)

対象: 小学生3~6年生とその保護者

参加人数: 8組16名

特別協力: 株式会社竹尾

ポスター作品の中にある様々な形や文字に注目し、創作活動を通じ当時のポスターデザインへの理解を深めるワークショップ。前

半はポスターの役割や展示されている作品の特徴を知り、展示室で基本的なイメージの組み合わせ・表現のバリエーションを鑑賞。後半は、自身が気になった形や文字を、様々な用紙を用いて、台紙に構成・配置。完成後はコピーをとり、ポスターの特性である複製と掲示までを体験し、参加者同士で互いの成果物を共有する時間を持った。





d. ウェルカムルームワーク「組み合わせて遊んでみよう！」

ポスター作品の中に描かれる基本的な形を、用紙の上で組み合わせ、デザインの成り立ちを気軽に体験できるワークをウェルカムルームの一角に用意した。子供に限らず、幅広い年代の来館者がワークに取り組む様子が見られた。



展覧会カタログの制作

編集：多摩美術大学、東京都庭園美術館、日本経済新聞社文化事業部

監修：佐賀一郎(多摩美術大学)

アートディレクション：澤田泰廣(多摩美術大学)

ブックデザイン：長澤昌彦

制作：アイメックス・ファインアート

印刷・製本：山田写真製版所

用紙：株式会社竹尾

発行：日本経済新聞社



ハンドアウトの制作・発行

発行：東京都庭園美術館

協力：ポスター共同研究会、株式会社竹尾、日本経済新聞社

用紙：タブロ 菊版T目 45.5kg

印刷版式：オフセット4色

書体：オリジナルロゴタイプ、游ゴシック体、ゴシックMB101、
デイン、デイン・コンデンス、アドビ・ギャラモン





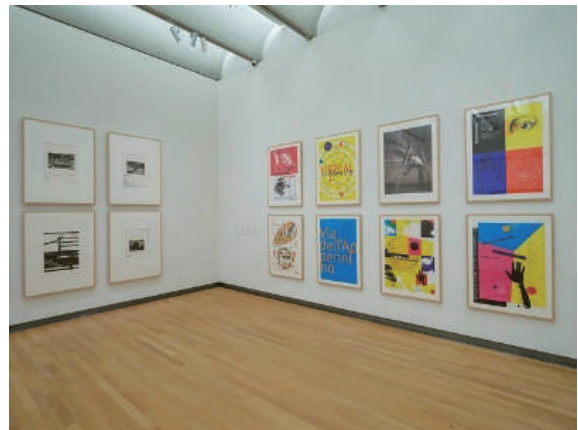
展示会場

本館





新館ギャラリー1





3. 紀要の発行

「東京都庭園美術館紀要 2020」の刊行



所収原稿：1. 調査報告「文化財建造物を文化施設として活用すること」
高橋さおり（東京都庭園美術館 管理係 建物維持管理担当）

2. 論考「20世紀のポスター 未来から過去を見ること」
田中雅子（東京都庭園美術館 学芸員）

発行方法：当館ウェブサイトおよび印刷物で公開



4. 教育普及事業等

(1) ウェルカムルーム運営

来館者一人ひとりが能動的に美術館体験を楽しむための、ラーニング・プログラムの拠点。カンバセーション・テーブル「さわる小さな庭園美術館」、建築紹介の音声ガイドとしても使えるアプリのためのタブレット端末、本棚、ワークシートなどが設置されており、展覧会鑑賞前後にのんびり過ごす空間として親しまれている他、学校団体などの受け入れや、ワークショップの会場としても活用。

利用者数：8,443 人(開室日数 131 日)

(2) 館長講座

展覧会や建物公開とは直接関連せず、もっとひろく美術あるいは美術館の愛好者を増やしていくことを目標として、平成 30 年度から館長講座を開催している。年間を通してテーマを決め、毎回そのテーマに沿った作品を取り上げながら、館長独自の視点で講座を行う。例年年間 5 回開催してきたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあって 3 回とし、定員も半分の 20 名とした。一方で講座の様子を動画配信することとした。第 3 回については、緊急事態宣言下だったため、参加者を募らず、動画配信のみ実施した。

実績

【館長講座「近代によみがえる古代神話(日本美術編)」】

1回:2020年10月21日(水)実施、22日より動画配信

青木繁《日本武尊》(油彩画、1906年制作、東京国立博物館所蔵)

受講者 15人

2回:2020年12月2日(水)実施、4日より動画配信

月岡芳年《雄略帝、猛猪を蹴り上げる》(錦絵、1879年制作)

受講者 16人

3回:2021年3月17日(水)収録、18日より動画配信

滋野芳園・安原清・萩川和明《蝦蟇仙人》(漆工、1890年代制作、ハリリ・コレクション所蔵)

実施概要

実施場所 東京都庭園美術館敷地内

レストラン デュ・パルク(第1回・2回)

時間 毎回 14:30~16:00(90分)

講師 東京都庭園美術館館長 樋田豊次郎

定員 各回20人

参加費 1人 1,200円(ソフトドリンク付)

申込方法 当館ウェブサイトによる募集(先着順)





(3) ワークショップ・ツアー等

障害のある方向け アート・コミュニケーターとめぐる特別鑑賞ツアー

段差や狭い間口が多い文化財建築の建物内で、障害のある方にも安心して鑑賞いただけるよう、休館日に人数を限定したツアーを初めて実施した。参加者一組ごとにアート・コミュニケーターがマンツーマンでつき、移動時のサポートや個別の状況に応じた進行を行いながら、参加者との対話も重視した。当日は、午前・午後の2部制とし、それぞれ14組28名、15組26名の参加があった。ツアー中は各組ごとに会話を楽しみながら鑑賞し、また、レストランとミュージアムショップも時間限定で営業したため、ツアー以外の時間帯も館内でゆっくりと過ごす参加者の姿が多くみ



られた。また、アート・コミュニケーターの制作による建築内部に施された文様を触って鑑賞するアクリルボードも試験的に取り入れ、視覚障害の方などを中心に体験していただいた。通常の開館日には来館しづらいと感じている方々に、来館のしやすさ・過ごしやすさへの配慮に加え、美術館でより充実した時間を過ごしていただくための試みとなった。

実施日：2020年12月9日（水）

時間：【午前の部】10:30～12:00（10:15受付開始）【午後の部】13:30～15:00（13:15受付開始）

対象：身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳などをお持ちの方
各回15名とその介助者（1名まで）

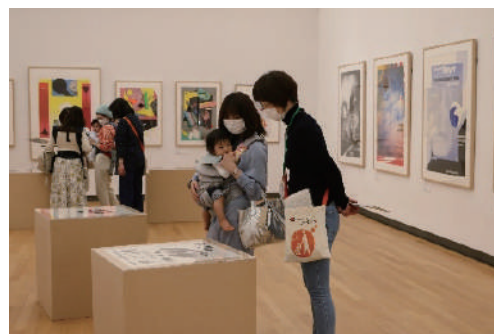
参加者人数：【午前の部】14組28名 【午後の部】15組26名

運営委託：特定非営利活動法人アート・コミュニケーション推進機構

（2021年3月10日（水）に「20世紀のポスター」展で実施を予定していたツアーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

ベビーといっしょにミュージアムツアー

赤ちゃんのいる家族を対象に、展覧会を鑑賞するツアーを休館日に行った。普段はベビーカーのまま入館ができない本館も、この日は可能とし、子供と一緒に美術館に出かけることに躊躇してしまいがちな方々に、気兼ねなく美術館で過ごしてもらうことを目的としている。参加者一組ごとにアート・コミュニケーターが付き、家族ごとのペースに合わせて進行を行った。当日は、9組23名の方が参加し、そのうち子供は11名で、4か月～3歳までの年齢・月齢であった。ツアー終了後にも庭園や授乳室、ウェルカムルームを開放し、緩やかに滞在できるようにし、アート・



コミュニケーターとの会話の他、同じ年齢・月齢同士の参加者間で新たな交流も生まれた。アンケートでは、今後の開催を希望する声も多く書かれ、赤ちゃんと家族に向けたプログラムの継続的な開催の可能性を見出す機会となった。



実施日：2021年3月24日（水）

時間：11:00～12:00（＊13:00まで庭園に滞在可能）

対象：赤ちゃんとその保護者10組（保護者は2名まで）

参加者人数：9組23名

運営委託：特定非営利活動法人アート・コミュニケーション推進機構

（4）オンライン発信

動画シリーズ「わたしのイチオシ」

美術館で働くスタッフが当館の中のイチオシを紹介する動画を作成し、ウェブで公開した。

館内の見どころの紹介にとどまらず、スタッフ個人の関心を通して、美術館を運営するために欠かせない様々な仕事への理解と関心を広げることを目的とした。

Vol.1：茶室「光華」 板谷敏弘（学芸員）

Vol.2：パーゴラ 高橋さおり（管理係）

Vol.3：ラジエーターカバー 今井加奈子（監視員）

Vol.4：椿 山口琢郎（植栽管理）

Vol.5：西洋庭園 河野瑞夏（レストランサービス）

Vol.6：ガラスレリーフ扉 岡部友子（副館長）

Vol.7：ベランダ 五十嵐涼太（清掃スタッフ）

Vol.8：新館渡り廊下のガラス

小鷹あかね（ミュージアムショップ スタッフ）



おうちで「たてもの文様」つくってみよう

2014年のリニューアルオープン以降開催されていた、本館の中に施された様々な文様から切り紙をつくる「たてもの文様帖」のワークショップを、自宅でも楽しめるよう、制作方法を紹介する動画を作成しウェブで公開した。（動画再生回数：458回）

（5）ティーチャーズウィーク・学校団体見学等受け入れ

ティーチャーズウィーク

小中高等特別支援学校の教員を対象に「ティーチャーズウィーク」を実施した。実施期間中は無料で展覧会を視察できるようにし、美術館での鑑賞授業に向けた研修の一環として活用してもらった。

実施期間：2021年2月6日（土）～2月14日（日）

参加人数：18名

学校団体見学

2020年10月22日（木） 東洋女子高等学校 1年生 5名（+引率1名）



(6) 財団連携事業

財団連携事業の一環として、江戸東京博物館の「えどはくカルチャー」の講座を当館「東京モダン生活」展の開催に合わせて以下のとおり実施した。

えどはくカルチャー 「旧朝香宮邸(東京都庭園美術館本館)のちょっと通な楽しみ方」

日時：2020年9月2日(水)

場所：東京都庭園美術館ギャラリー2

講師：板谷敏弘(東京都庭園美術館学芸員)・田中実穂(東京都江戸東京博物館学芸員)

受講者：45人



5. 美術品の収集

当館の収集方針に沿う質の高い作品及び資料7件 157点を、購入・寄贈により幅広い分野から収集することができた。いずれも今後の展覧会での積極的な活用が期待される。

購入

1. 名称：錬鉄製テーブルランプ
作者：レイモン・シュブ
制作年：1922年頃
サイズ／素材・技法：高さ71cm／錬鉄・布
2. 名称：幾何学文花瓶
作者：クリストフル社／リュック・ラネル(デザイン)
制作年：1925年頃
サイズ／素材・技法：高さ25cm／真鍮地に銀メッキ
3. 名称：Wonder
作者：青木美歌
制作年：2017年
サイズ／素材・技法：高さ40cm、幅20cm／ガラス
4. 名称：Les Artistes du Livre
作者：Henry Babou(出版社)
制作年：1928-33年
サイズ／素材・技法：高さ28cm、幅22.5cm／紙に印刷

寄贈

5. 名称：鳥たちが見た夢
作者：佐々木 愛
制作年：2020年
サイズ／素材・技法：高さ240cm、幅200cm／漆喰(塗るタイル X-1)
6. 名称：Door
作者：佐々木 愛
制作年：2020年
サイズ／素材・技法：高さ20cm、幅15cm、奥行3.5cm／木に着色
7. 名称：銀器コレクション一式
内容：19世紀から20世紀にかけてのティーセットやカトラリーなど銀器類一式
数量：151点



1



2



3



4



5



6



7





6. 広報事業

昨年度に引き続き、館の公式SNSによる情報発信につとめた。展覧会の紹介や見どころのほか、庭園の風景、カフェやショップの新商品の紹介などで内容を充実させた。

2020年2月の臨時休館から6月の再開でツイッターのフォロワー数が急増し、2021年3月には12万8千を超えた。またインスタグラムも、ドラマ「名建築で昼食を」で紹介されたことをきっかけにフォロワー数が大幅に増加し、昨年度末には2万8千だったが、3月には5万を超えた。またオンラインによるリリース配信や、インスタグラムを活用した広告など、インターネットを通じた展覧会情報の周知を図った。

実績(※2021年3月現在)

■TV・ラジオ放送件数 14件

「東京モダン生活」展がNHK「日曜美術館アートシーン」で紹介。「生命の庭」展が「東京サイト」や「WowW!Ho!TV」で紹介。またドラマ「名建築で昼食を」の舞台として紹介された。

〈展覧会紹介〉

- ・NHK「日曜美術館アートシーン」…「東京モダン生活」展
- ・NHK「ごごナマ<おうちでミュージアムコーナー>」…「東京モダン生活」展
- ・news every「いまダケツ」
- ・TOKYO MX TV「Wow! Ho! TV」…「生命の庭」展
- ・テレビ朝日「東京サイト」…「生命の庭」展 ほか

〈美術館紹介〉

- ・テレビ朝日「じゅん散歩」
- ・BSテレ東 ドラマ「名建築で昼食を」
- ・NHK BS4K/BSプレミアム「美の壺」
- ・NHK-BSプレミアム「パン旅。」
- ・TOKYO MX「日曜はカラフル!!!」 ほか

■新聞掲出件数 42件

- ・読売新聞…「東京モダン生活」展、「生命の庭」展、「20世紀のポスター」展
- ・朝日新聞…「生命の庭」展
- ・東京新聞…「20世紀のポスター」展
- ・公明新聞…「生命の庭」展 ほか

■雑誌掲出件数 107件

「美術の窓」「芸術新潮」「新建築」等の美術・建築専門誌のほか、「CLUEL」「anan」「ヴァンサンカン」「ミセス」「クロワッサン」等のファッション・ライフスタイル誌を中心に堅調であった。



■インターネット掲出件数 134件

「インターネットミュージアム」「ウェブ版美術手帖」等の美術館展覧会情報サイト、「レッツエンジョイ東京」「ウォーカープラス」等のレジャー情報サイトで多数紹介。個人ライターのプログでも多く紹介された。「名建築で昼食を」の放送後は、「Casa BRUTUSウェブマガジン」で特集が生まれ、好評を博した。また新型コロナウイルスの影響で学びの機会が制限されている中、文化庁主催の配信シリーズ「チコちゃんといっしょに課外授業」プロジェクトがスタートし、東京都庭園美術館は会場の一つとして選ばれ、本館大広間を舞台にトークショーとコンサートが行われた。その様子は後日オンライン配信され、新たな層の関心を得られた。

■WEB関連

- ・公式WEBサイト …………… 2,903,641アクセス
- ・公式Twitter …………… 297回投稿、フォロワー数128,107人
- ・公式Facebook …………… 190回投稿、フォロワー数25,976人
- ・公式Instagram …………… 145回投稿、フォロワー数50,440人

■展覧会プレス内覧会

- ①「生命の庭」展(10/16) …………… 627件リリース発送、63名出席
- ②「20世紀のポスター」展(1/29) …… 626件リリース発送、67名出席

■周辺・近隣広報対応

- ・美術館前バナー(1か所) …………… 4回更新
- ・目黒通りバナー(17か所) …………… 4回更新
- ・JR目黒駅周辺地図掲示
- ・東京メトロ・都営線白金台駅出口広告掲示

■ロケ撮影対応

- ・スチール撮影 …………… 1件
- ・ムービー撮影 …………… 1件

■その他

- ・「生命の庭」展関連企画「作家への手紙」を実施

作品への疑問や感想など、作家に直接伝えたいことを手紙にして書けるコーナーを設置した。来館者からの手紙は出展作家に届け、返事があったものについてはウェブサイトやSNSで公開した。美術館を通して、来館者と現代作家を双方向的につなぐ取り組みとして好評価を得た。

実施期間…………… 11/5(木)～12/20(日)

手紙総数…………… 184件

ウェブ掲載数 …………… 48件



7. 美術館維持管理

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また緊急事態宣言の発令により6月1日からスタートとなるなど、2か月間の休館がありつつも展覧会、庭園合わせて約15万人の来館者を迎えた。6月1日からのスタート以降は、警備や受付・監視業者の協力のもと、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら来館者が安全・快適に鑑賞できるような美術館の体制構築に心掛けた。

1) 設備点検・清掃

収蔵庫、本館・新館展示室等の適切な空調管理のための日常点検、快適な展示スペース確保のための清掃を行った。

2) 館内連絡会等の定期開催

館内連絡会の定期開催により、館と委託業者のみならず、各業者間の連携・協力体制を確立し、課題検討、来館者サービスの向上に努めた。

3) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

新型コロナウイルス感染拡大防止対策は、以下を実施した。

- ・ 正門入口での検温
- ・ 本館受付カウンターのアクリルパネル設置
- ・ 空気清浄機の設置（本館受付・ロッカー室・ウェルカムルーム・新館1階ロビー）
- ・ 館内ルール周知用放送プログラムの製作

4) QRコード決済導入

10月1日から、展覧会・庭園チケット販売方法にQRコード決済を導入した。使用可能なQRコードは、メルペイ、LINE Pay、ゆうちょ Pay、銀行 Pay、K PLUS、atone、pring、au PAY、Fami Pay、Alipay、WeChat Pay に対応している。

5) GO TOトラベルへの協力

11月1日から、国が実施した、GO TOトラベル事業の地域共通クーポンに協力した。

6) 工事・修繕等

- ・ 仮設高圧ケーブル設置工事
- ・ 展示室、収蔵庫系統空調機メンテナンス
- ・ 本館複層ガラス化工事
- ・ 本館床補修工事
- ・ 本館2階ホール照明メンテナンス
- ・ 正門塀清掃
- ・ その他、適宜不具合対応に努めた



7) 本館結露対策

国の重要文化財である本館は秋から冬にかけての結露が酷く、昭和8年竣工時の鋼製サッシ枠・扉及び窓台の腐食や劣化を促進させていることが長年の懸案事項であったが、平成29年度に小食堂・喫煙室の2部屋窓ガラスに対し、旭ガラス製「アタッチ」を既存窓ガラス(昭和58年改修工事時に取付)の上から取付け複層ガラス化工事を実施した。それにより、結露軽減の効果が得られたため平成30年度・31年度も継続して工事を実施している。令和2年度は、姫宮居間新館側窓ガラスに対し複層ガラス化工事を実施した。令和3年度も引き続き複層ガラス化工事を実施する予定である。

その他、展示室・バックヤード等、美術館施設として重要と捉えている本館内各所に、デジタル式のデータロガーを新たに設置し、美術館用空調機が導入されている場所、そうでない場所など、建物全体の温湿度変化の動向を図るべく設置した。複層ガラス化できない個所に対する結露軽減、また、適切な展示環境構築に役立てたい。

8) 本館建具金物調査

本館竣工時より使用されている本館建具金物は、使用頻度が高い扉のドアハンドルのガタツキや緩み、また蝶番付属の擬宝珠の欠損、グレモン錠の変形などが確認されている。令和2年度は全体の現状把握や小修繕を目的とし、調査を行った。

9) その他本館内調査

現状把握の為、建具金物以外も、本館ラフコート壁劣化調査・鋼製建具劣化調査等を実施した。

10) 防災訓練の実施

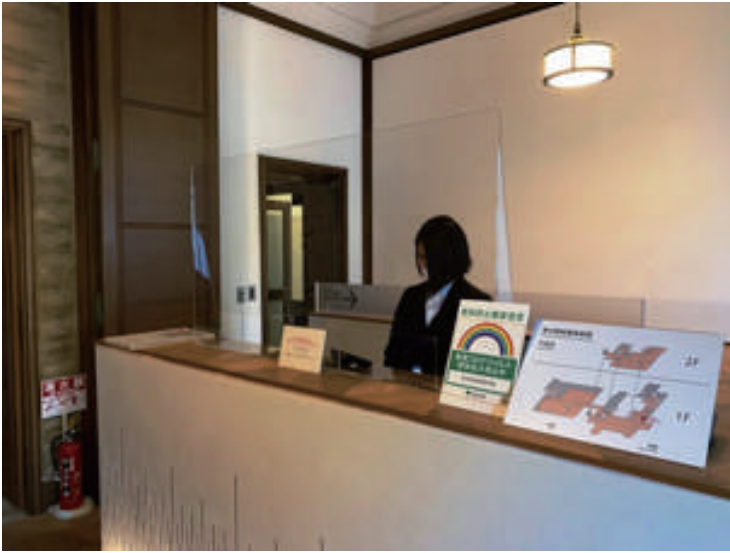
第1回：令和2年10月15日(木)実施／第2回：令和3年3月24日(水)実施

11) 東京都が実施する工事への連携・協力

工事定例会に参加し、館の立場から来館者の利用しやすい施設となるよう情報提供し、工事に連携・協力した。

東京都庭園美術館(3)本館警備機器改修工事設計

工期 令和2年11月～令和3年3月



本館受付カウンターの亚克力パネル設置



正門入口での検温



正門塀清掃



本館建具金物調査



8. 収益事業

(1) ミュージアムショップの運営

令和2年度はミュージアムショップの運営事業者が変わり、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館後の美術館再開に合わせ、6月1日、新館ロビーのリュミエール(Lumière)及び正門横のヴェール(VERT)の2店舗がオープンした。

いずれも来館者等にオリジナル商品、展覧会図録やグッズ、各種書籍やアート関連商品等を販売したが、正門横のヴェール(VERT)は令和2年9月30日をもって閉店した。

実績

リュミエール(Lumière)/新館1階ロビー

購入客数：12,200人

営業日数：243日(令和2年6月～令和3年3月)

営業時間：10:00～18:00

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

ヴェール(VERT)/正門横

購入客数：1,382人

営業日数：114日(令和2年6月～9月)

営業時間：10:00～18:30

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始

事業者：株式会社オークコーポレーション(両店舗とも)



(2) レストラン、カフェの運営

正門横のレストラン「Du Parc」(デュ パルク)は、西洋庭園と本館側がサッシュレス全面ガラスの開放感ある建物で、フレンチをベースにランチからディナーまで提供している。ロケーションの良さだけでなく、コース料理を比較的リーズナブルな料金で味わえることや、美術館のチケットがなくても利用できることなどから、特にランチは盛況である。

新館1階のカフェ「café TEIEN」(カフェ庭園)は、レストランと同一の事業者が営業を行っている。オリジナルのスイーツが充実しており、それぞれの展覧会に合わせたスイーツは見栄えの良さからインスタグラムに多くアップされている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館期間中、令和2年4月1日から4月5日までは、レストラン「Du Parc」(デュ パルク)のランチ/ディナー予約者を対象に、席数を限定して営業を行ったが、4月6日から5月31日まで及び令和3年1月13日から1月29日までは休業した。

実績

レストラン「Du Parc」

利用者数：18,994人

営業日数：267日

営業時間：ランチ 11：00～14：00

カフェ 14：00～17：00 ※

ディナー 17：00～22：00 ※

※令和3年1月30日から3月31日まで、飲食店営業時間短縮要請に伴い、カフェ 14：00～18：00、ディナーなし、閉店 18：00に変更。

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始

席数：52席(テーブル44席/カウンター8席)

カフェ「café TEIEN」

利用者数：19,811人

営業日数：244日

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

席数：34席(屋内22席/テラス12席)

事業者(両店舗とも)：4月～12月 ロアラブッシュ株式会社

1月～3月2日 ミュージアム1999 ロアラブッシュ株式会社(事業承継)

3月3日～31日 メゾン・ド・ミュゼ株式会社(社名変更)



レストラン「Du Parc」



カフェ「café TEIEN」

展覧会コラボメニュー(例)

建築をみる 2020「東京モダン生活—東京都コレクションにみる 1930 年代」



レストラン(ランチ)
「鱈のデグレネゾン 朝香宮邸をイメージして」



レストラン(ディナー)
「マグロと茄子のミルフィーユ 庭園風」



カフェ
「アラベスク」

「生命の庭—8人の現代作家が見つけた小宇宙」

8人の現代作家の作品をイメージしてパティシエが仕上げた8種類のプティガトー(コラボケーキ)



青木美歌



浅井裕介



加藤 泉



康 夏奈



小林正人



佐々木愛



志村信裕



山口啓介

「20 世紀のポスター [図像と文字の風景]—ビジュアルコミュニケーションは可能か?」



カフェ
「キッシュプロヴァンサル 庭園スタイル」



カフェ
「タイポグラフィ」



ユニークベニユール事業

歴史的建造物や文化施設等で、会議やイベント、レセプション等を開催することで、特別感を演出できる会場となるユニークベニユール事業を、平成 29 年より実施している。

令和2年度実績

事業名 PERRIET-JOUËT CELLAR MASTER SUCCESSION EVENT

日時：2020 年 10 月 14 日(水) 16：30～18：25

主催：ペリノ・リカール・ジャパン株式会社

概要：ペリエジュエのルーツである自然とアートに紐づいたテイスティングセッションを、当館のレストラン「デュパルク」とガーデンテラスにおいて行った。

7代目セラーマスターから、8代目へのサクセッションという特別な瞬間での感動的な体験を通じ、招待客には、メゾン ペリエ ジュエの伝統や品質へのこだわりを再認識できる場となった。

会場：東京都庭園美術館 レストラン「デュパルク」、ガーデンテラス

来場者数：28 人

令和2年度の実績

1. 入館者数

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間目標	前年同期 累計	組織目標計画 対比	
企 画 展	北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック アール・デコの方ラス【中止】	0											0	5,000	—	0.0%	
	建築をみる2020 東京モダン 生活	0	0	6,921	7,452	10,095	15,164						39,632	43,000	—	92.2%	
	生命の庭						7,396	14,991	9,109	3,381				34,877	47,000	—	74.2%
	奇想のモード【延期】												0	52,000	—	0.0%	
	20世紀のポスター 画像 と文字の風景										1,060	11,006	13,898	25,964	38,000	—	68.3%
観覧者 合計	0	0	6,921	7,452	10,095	15,164	7,396	14,991	9,109	4,441	11,006	13,898	100,473	185,000	145,360	54.3%	
庭園のみ入場者	0	0	3,912	2,964	2,888	3,839	7,565	9,495	4,536	1,266	5,990	6,946	49,401	66,800	57,733	74.0%	
そ の 他 入 館 者	展覧会に伴う講演会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	800	438	0.0%	
	展覧会ギャラリートツアー等	0	0	0	0	0	0	313	0	18	0	0	331	240	419	137.9%	
	ワークショップ等	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	35	120	183	29.2%	
	ミュージアム・コンサート	0	0	0	0	0	0	73	0	0	54	77	204	650	828	31.4%	
	その他イベント	0	0	0	0	0	45	54	27	70	0	18	23	237	580	631	40.9%
その他入館者合計	0	0	0	0	0	80	440	27	88	54	95	23	807	2,390	2,499	33.8%	
入館者 総 合 計	0	0	10,833	10,416	12,983	19,083	15,401	24,513	13,733	5,761	17,091	20,867	150,681	253,810	205,592	59.4%	

※その他入館者は、館主催の自主事業利用者数とする。
 ・展覧会に伴う講演会は、各館共通事項とする。
 ・上記以外の事業は各館個別の呼称で記載する。
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/1-5/31全面休館、1/13-1/29庭園公開休止(展覧会準備期間)

外国人入館者	企画展	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年 同月比	
	庭のみ	0	0	23	20	35	21	4	56	17	4	37	43	260	-	1,880
茶室公開	0	0	167	1,173	1,669	2,026	3,476	7,696	4,331	1,407	4,989	5,095	32,029	-	66,630	-

2. 広報・宣伝

事 項	区 分	(単位:件)												合計	前年 同月比
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
マスコミ	TV・ラジオ放送件数	0	0	3	2	0	1	0	3	1	1	1	2	14	87.5%
	新聞掲出件数	2	2	3	3	2	3	8	3	3	4	5	4	42	85.7%
	雑誌等掲出件数	18	7	23	23	20	22	32	31	23	29	44	36	308	115.4%
ホームページ	アクセス件数(PV)	50,283	92,036	253,317	216,566	256,716	410,930	312,811	333,404	204,796	188,216	267,208	317,358	2,903,641	82.9%
ツイッター	フォロワー数	119,085	119,642	120,509	121,270	121,997	122,892	123,655	124,421	124,961	126,174	127,167	128,107	128,107	105.8%

3. 収益事業収入

管理手数料 料及び売 上高	事 項	(単位:円)												合計	前年 同月比
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
MS管理手数料	MS管理手数料	0	0	385,000	385,000	385,000	385,000	115,500	115,500	115,500	115,500	193,391	263,496	2,458,887	40.6%
	飲食施設管理手数料	210,282	0	1,261,700	1,261,700	1,261,700	1,261,700	1,261,700	1,261,700	1,261,700	651,200	1,261,700	1,261,700	12,216,782	82.3%
	駐車場売上高	0	0	211,500	343,500	584,500	577,500	346,500	585,000	425,500	262,500	386,000	618,000	4,320,500	121.6%
	自販機管理手数料	20,986	21,884	28,396	29,269	31,424	32,705	32,944	28,350	27,152	26,137	26,573	29,248	335,069	106.2%
	計	231,268	21,884	1,866,596	2,019,469	2,262,624	2,256,905	1,756,644	1,990,550	1,829,652	1,055,337	1,847,664	2,172,445	19,331,238	78.6%

(参考) ミュージアムショップ売上高

MS売 上高	事 項	(税抜)												合計	前年 同月比
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
MS売 上高	開店日数	0	0	28	29	29	28	14	27	26	10	26	28	240	77.0%
	売上高(円)	0	0	1,433,333	1,474,464	1,605,728	2,928,975	1,397,190	2,174,032	2,189,652	1,672,396	3,595,908	4,935,944	23,407,622	42.4%
	購買客数(人)	0	0	1,129	1,151	1,306	2,318	740	1,328	1,027	722	1,662	2,288	13,672	31.4%
	1日平均売上金額	0	0	51,190	50,844	55,370	104,606	99,799	80,520	84,217	167,240	138,304	170,205	95,153	54.6%
	1人平均購買金額	0	0	1,270	1,261	1,230	1,264	1,888	1,637	2,132	2,316	2,164	2,156	1,712	113.3%

※各展覧会ごとの特設売店の設置手数料及び購買客数も含む



(参考) 飲食施設売上高

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年 同月比	
飲食施設 売上高	開店日数	5	0	28	29	29	28	29	28	26	10	26	29	267	84.2%
	売上高(円)	163,000	0	5,799,354	6,779,099	8,396,643	9,703,672	8,775,741	10,219,663	7,460,230	2,030,688	5,280,285	7,626,972	72,235,347	62.8%
	飲食客数(人)	37	0	3,034	3,343	4,339	4,909	3,568	5,395	3,906	1,394	3,831	5,049	38,805	72.0%
	1日平均売上金額	32,600	0	207,120	233,762	289,539	346,560	302,612	364,988	286,932	203,069	203,088	262,999	270,544	74.6%
	1人平均飲食金額	4,405	0	1,911	2,028	1,935	1,977	2,460	1,894	1,910	1,457	1,378	1,511	1,861	87.2%

※各展覧会ごとの特設売店の設置手数料及び購買客数も含む

4. 展覧会関連事業

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
展覧会に伴う講演会	実施事業数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延実施日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延実施回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延参加人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
展覧会ギャラリーーツ アー等	実施事業数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	延実施日数	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
	延実施回数	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
	延参加人数	0	0	0	0	0	0	313	0	18	0	0	0	331
ワークショップ等	実施事業数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	延実施日数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	延実施回数	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
	延参加人数	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	35
ミュージアム・コン サート	実施事業数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3
	延実施日数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3
	延実施回数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	0	6
	延参加人数	0	0	0	0	0	0	73	0	0	54	77	0	204
その他イベント	実施事業数	0	0	0	0	0	1	3	1	2	0	1	1	9
	延実施日数	0	0	0	0	0	1	3	1	2	0	8	1	16
	延実施回数	0	0	0	0	0	1	6	3	3	0	8	1	22
	延参加人数	0	0	0	0	0	45	54	27	70	0	18	23	237

※記載する事業について

- ・ 展覧会に伴う講演会は、各館共通事項とする。
- ・ 上記以外の事業は各館個別の呼称で記載する。

※随時体験型イベントの実施回数は1回/月とみなす。



5. 出版物

	<p>北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック</p> <p>発行数 一般書籍のため未定</p> <p>発行日 令和2年2月20日</p> <p>編集 北澤美術館</p> <p>著者 池田まゆみ</p> <p>発行所 株式会社求龍堂</p> <p>販売価格 2,400円(税別)</p>
	<p>生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙</p> <p>発行数 初版部数:2,200部</p> <p>発行日 2020年12月12日</p> <p>発行所 株式会社青幻舎</p> <p>編者 東京都庭園美術館</p> <p>販売価格 2,500円(税別)</p>
	<p>20世紀のポスター [図像と文字の風景]</p> <p>発行数 4,000部</p> <p>発行日 2021年1月30日</p> <p>発行者 日本経済新聞社</p> <p>カタログ監修 佐賀一郎(多摩美術大学)</p> <p>アートディレクション 澤田泰廣(多摩美術大学)</p> <p>ブックデザイン 長澤昌彦</p> <p>販売価格 2,700円(税別)</p>
	<p>東京都庭園美術館紀要 2020</p> <p>令和3年3月31日 発行</p> <p>発行数 500部(ホームページ上でも公開)</p> <p>編集/発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館</p> <p>販売価格 無料</p>

その他

組織

令和3年3月31日現在

館長	樋田 豊次郎
副館長(学芸)	岡部 友子

管理係

管理係長〔派〕	真田 千春
主任	増渕 仁美
主事	高橋 さおり
主事	清水 麻子
主事	丸山 文江

事業係

事業係長(学芸)	牟田 行秀 ○
教育普及担当係長(学芸)	板谷 敏弘
サービス推進担当係長	藤野 英樹
主任(学芸)	神保 京子
主任(学芸)	大木 香奈
主任(学芸)	浜崎 加織
主事(学芸)	吉田 奈緒子
主事(学芸)	田中 雅子
主事(学芸)	大谷 郁
主事	鶴 三慧

※○ 課長補佐



展覧会実績一覧

1983 昭和58年

グッゲンハイム美術館展 1983年10月1日～12月25日(81日)

1984 昭和59年

早春展 1984年2月23日～4月9日(45日)

陽春展 1984年4月14日～4月23日(10日)

コプト美術展 1984年4月28日～6月3日(35日)

'84 初夏—美とのであい 1984年6月16日～7月8日(22日)

ルオー展 1984年9月14日～11月4日(48日)

晩秋展 1984年11月17日～12月23日(35日)

1985 昭和60年

日本画による初春展 1985年1月12日～2月11日(30日)

アレックス・コルヴィル展 1985年2月20日～3月21日(28日)

フランス・コルベール展 1985年4月1日～5月12日(39日)

日本の美 1985年5月19日～6月23日(31日)

アジア近代絵画の夜明け展 1985年7月20日～9月1日(44日)

庭園美術館への誘い 1985年9月12日～24日(13日)

20世紀オーストラリア美術名作展 1985年10月4日～11月6日(32日)

NEW YORK・ニューヨーク 1985年11月17日～12月22日(34日)

1986 昭和61年

回想の江戸・東京展 1986年1月11日～2月23日(42日)

12人の現代彫刻家 1986年3月2日～4月16日(43日)

アントニー・クラーベ展 1986年4月27日～6月30日(61日)

黒田清輝展 1986年7月11日～8月10日(30日)

日本の子どもの本歴史展 1986年8月17日～9月23日(36日)

室町美術と戦国画壇 1986年10月5日～11月9日(34日)

庭園美術館へのいざない パートⅢ 1986年11月20日～12月21日(30日)

1987 昭和62年

日本のガラス造形—昭和 1987年1月10日～3月22日(67日)

アンデスの染織と工芸 1987年4月4日～5月12日(37日)

美しき日本 1987年5月23日～6月30日(36日)

小磯良平展 1987年7月11日～8月30日(48日)

ブルデル/デュフェ 1987年9月12日～11月23日(69日)

「新東京百景」展 1987年11月29日～12月22日(23日)

1988 昭和63年

回想の江戸・東京Ⅱ 1988年1月10日～2月14日(33日)

牧野虎雄・曾宮一念展 1988年2月25日～3月27日(30日)

ルネ・ラリック展 1988年4月5日～5月29日(51日)

パリ・街・人 アジェとカルティエ=ブレッソン 1988年6月4日～7月24日(48日)

西洋美術の名作展 1988年7月31日～9月4日(34日)



ヤン・トーロップ展 1988年9月20日～11月6日(45日)
レオナルド・フジタ展 1988年11月12日～1989年2月21日(90日)

1989 昭和64年 平成元年

東京都江戸東京博物館収蔵品展 1989年3月1日～3月28日(26日)
ヘルムート・ニュートン ポートレート 1989年4月5日～5月14日(37日)
フンデルトワッサー展 1989年5月21日～7月11日(49日)
藤島武二展 1989年7月19日～9月3日(47日)
江戸美術の祝祭 1989年9月14日～10月24日(39日)
国吉康雄展 1989年11月1日～12月24日(51日)

1990 平成2年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1990年1月11日～2月4日(24日)
ドイツ・ロマン派の時代展 1990年2月18日～3月25日(34日)
浜口陽三展 1990年4月3日～6月3日(58日)
ルネ・ラリックの香水瓶展 1990年6月16日～8月5日(48日)
古代ギリシャ美術展 1990年8月18日～9月23日(35日)
エドワード・ホッパー展 1990年10月6日～12月16日(67日)

1991 平成3年

ルイス・C・ティファニー展 1991年1月12日～3月17日(61日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1991年3月24日～3月31日(7日)
子どもの本・1920年代展 1991年4月6日～5月26日(47日)
カッサンドル展 1991年6月2日～7月14日(40日)
小磯良平遺作展 1991年7月20日～8月27日(37日)
袱紗展 1991年9月14日～10月13日(28日)
世界の名作展 1991年11月2日～12月20日(46日)

1992 平成4年

ベルリン東洋美術館名品展 1992年1月12日～2月17日(35日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年2月29日～3月24日(24日)
バリー・モダン1910-30年代 1992年4月4日～5月24日(48日)
ロバート・メイプルソープ展 1992年6月2日～7月2日(29日)
日本洋画再考展 1992年7月10日～8月5日(26日)
洋画の動乱 昭和10年 1992年8月14日～10月6日(51日)
卓上の芸術 1992年10月17日～12月10日(51日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年12月18日～1993年1月21日(25日)

1993 平成5年

ドーム・ガラス展 1993年1月31日～3月15日(41日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1993年4月3日～4月13日(11日)
長谷川潔展 1993年4月29日～7月7日(66日)
デ・キリコ展1920-1950 1993年7月16日～8月15日(29日)
大正日本画の若き俊英たち 1993年8月21日～9月23日(31日)
アール・デコ様式のセーブル磁器展 1993年10月2日～12月19日(74日)

1994 平成6年

旧朝香宮邸の建築と歴史 1994年1月15日～2月13日(38日)
全国美術館コレクション名品展 1994年3月3日～3月31日(27日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1994年4月5日～4月17日(12日)



カール・ラーション展 1994年4月23日～5月31日(36日)
 ヨーロッパ工芸新世紀展 1994年6月11日～7月31日(48日)

1995 平成7年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1995年3月10日～3月19日(10日)
 フランス宝飾芸術の世界展 1995年4月8日～5月28日(47日)
 レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図 1995年6月10日～7月30日(47日)
 アメリカに生きた日系人画家たち 1995年8月12日～10月1日(48日)
 スチュアート・デイヴィス展 1995年10月10日～11月26日(44日)
 エドゥアール・サンド彫刻展 1995年12月7日～1996年2月13日(57日)

1996 平成8年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年2月24日～3月24日(28日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年4月1日～5月26日(52日)
 林武展 1996年6月15日～7月28日(41日)
 日本工芸の青春期1920s-1945 1996年8月10日～9月17日(36日)
 北大路魯山人展 1996年10月5日～11月24日(48日)
 ジョージ・チネリーと知られざる19世紀広東・マカオ・香港の美術展 1996年12月7日～1997年2月11日(55日)

1997 平成9年

イタリア・バロック絵画展 1997年2月20日～3月30日(36日)
 アルザスとフランス近代美術の歩み 1997年4月5日～5月25日(48日)
 パリ国立オペラ座衣裳展 1997年6月14日～8月17日(61日)
 東南アジア—近代美術の誕生 1997年9月6日～10月12日(34日)
 フォンタネージと日本の近代美術 1997年10月23日～12月14日(50日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1997年12月21日～1998年1月27日(28日)

1998 平成10年

工芸のジャポニスム展 1998年2月7日～3月24日(43日)
 華麗なる馬たち 1998年4月4日～5月26日(50日)
 イタリアのガラス1930-1970 1998年6月6日～7月26日(47日)
 ザッキン—彫刻と素描展 1998年8月8日～9月27日(47日)
 ジョルジョ・モランディ 花と風景 1998年10月10日～11月29日(47日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1998年12月12日～1999年3月21日(86日)

1999 平成11年

名画の花束 1999年4月3日～5月30日(54日)
 リバティ・スタイル展 1999年6月12日～7月25日(42日)
 宮本三郎展 1999年8月7日～9月19日(41日)
 パリ・モード1870-1960 1999年10月2日～12月19日(74日)

2000 平成12年

アール・デコと東洋 2000年1月8日～3月21日(69日)
 デペロの未来派芸術展 2000年4月4日～5月23日(47日)
 指輪—ちいさな記念碑の物語 2000年6月7日～8月6日(57日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2000年8月19日～10月29日(67日)
 ルネ・ラリック1860-1945展 2000年11月11日～2001年1月31日(69日)



2001 平成13年

- ロシア・アヴァンギャルド展 2001年2月10日～4月1日(47日)
- ジョルジュ・ルース展 2001年4月7日～6月3日(54日)
- ジノリ展 2001年6月16日～8月19日(61日)
- 安田侃—彫刻展 2001年8月25日～9月16日(22日)
- 安田侃—野外彫刻展 2001年4月12日～2002年3月17日併催
- カラヴァッジョ 2001年9月29日～12月16日(76日)

2002 平成14年

- 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2002年1月5日～3月17日(67日)
- マジョリカ名陶展 2002年4月4日～6月23日(76日)
- ソニア・ドローネ 2002年7月6日～9月8日(61日)
- ピュイフォルカ展 2002年9月21日～12月1日(68日)

2003 平成15年

- 旧朝香宮邸のアール・デコ 2003年1月4日～4月6日(81日)
- ヨーロッパ・ジュエリーの400年 2003年4月24日～7月1日(65日)
- マリー・ローランサン回顧展 2003年7月19日～9月15日(55日)
- アール・デコ様式 2003年10月1日～2004年2月1日(105日)

2004 平成16年

- パリ1900 2004年2月21日～4月11日(48日)
- シルクロードの装い 2004年4月24日～6月20日(54日)
- 幻のロシア絵本1920-30年代展 2004年7月3日～9月5日(61日)
- エミール・ノルデ 2004年9月18日～11月7日(48日)
- 田原桂—光の彫刻 2004年11月20日～2005年1月23日(54日)

2005 平成17年

- 日本のジュエリー100年 2005年2月5日～4月10日(61日)
- ジェームズ・アンソール展 2005年4月23日～6月12日(47日)
- 八木一夫展 2005年7月2日～8月21日(48日)
- 庭園植物記 2005年9月3日～11月6日(61日)
- 華麗なるマイセン磁器 2005年11月19日～2006年1月22日(55日)

2006 平成18年

- 宇治山哲平展 2006年2月4日～4月9日(61日)
- 北欧のスタイリッシュ・デザイン 2006年4月22日～6月18日(54日)
- 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2006年7月8日～10月1日(80日)
- アール・デコ・ジュエリー 2006年10月14日～2007年1月14日(80日)

2007 平成19年

- アルフレッド・ウォリス 2007年2月3日～3月31日(53日)
- 大正シック 2007年4月14日～7月1日(74日)
- 舞台芸術の世界 2007年7月26日～9月17日(51日)
- 世界を魅了した ティファニー 1837-2007 2007年10月6日～12月16日(67日)
- アール・デコの館 2007年12月23・24日/2008年1月12日～14日(5日)



2008 平成20年

建築の記憶 2008年1月26日～3月31日(63日)
 オールドノリタケと懐かしの洋食器 2008年4月17日～6月15日(56日)
 舟越桂 夏の邸宅 2008年7月19日～9月23日(64日)
 アール・デコの館 2008年10月1日～10月13日(13日)
 1930年代・東京 2008年10月25日～2009年1月12日(69日)

2009 平成21年

ポワレとフォルチュニイ 2009年1月31日～3月31日(58日)
 エカテリーナ2世の四大ディナーセット 2009年4月16日～7月5日(76日)
 ステッチ・バイ・ステッチ 2009年7月18日～9月27日(68日)
 パリに咲いた古伊万里の華 2009年10月10日～12月23日(70日)

2010 平成22年

マッキアイオーリ 2010年1月16日～3月14日(54日)
 アール・デコの館 2010年3月25日～4月11日(18日)
 ロトチェンコ+ステパーノワ 2010年4月24日～6月20日(54日)
 有元利夫展—天空の音楽 2010年7月3日～9月5日(61日)
 香水瓶の世界 2010年9月18日～11月28日(67日)
 朝香宮のグランドツアー 2010年12月11日～2011年1月16日(28日)

2011 平成23年

20世紀のポスター[タイポグラフィ] 2011年1月29日～3月27日(50日)
 森と芸術 2011年4月16日～7月3日(74日)
 皇帝の愛したガラス 2011年7月14日～9月25日(70日)
 アール・デコの館 2011年10月6日～10月31日(24日)

2014 平成26年

アーキテクト／1933／Shirokane 2014年11月22日～12月25日(32日)
 内藤礼 信の感情 2014年11月22日～12月25日(32日)

2015 平成27年

幻想絶佳：アール・デコと古典主義 2015年1月17日～4月7日(76日)
 マスク展 2015年4月25日～6月30日(63日)
 アール・デコの邸宅美術館 2015年7月18日～9月23日(64日)
 オットー・クンツリ展 2015年10月10日～12月27日(73日)

2016 平成28年

ガレの庭 2016年1月16日～4月10日(81日)
 メディチ家の至宝 2016年4月22日～7月5日(70日)
 こどもとファッション 2016年7月16日～8月31日(44日)
 アール・デコの花弁 2016年9月22日～12月25日(89日)
 クリスチャン・ボルタンスキー 2016年9月22日～12月25日(89日)

2017 平成29年

並河靖之七宝展 2017年1月14日～4月9日(81日／平成28年度中は72日)
 装飾は流転する 2017年11月18日～2月25日(86日)



2018 平成30年

アール・デコリヴァイヴアル! 建物公開 旧朝香宮邸物語 2018年3月21日~6月12日(79日/平成29年度中は10日)
フランス絵本の世界 2018年3月21日~6月12日(79日/平成29年度中は10日)
ブラジル先住民の椅子 野生動物と想像力 2018年6月30日~9月17日(75日)
エキゾテック × モダン アール・デコと異郷への眼差し 2018年10月6日~2019年1月14日(86日)

2019 平成31年

岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟 2019年1月26日~4月7日(68日/平成30年度中は61日)
キスリング展 エコール・ド・パリの夢 2019年4月20日~7月7日(74日)
1933年の室内装飾 朝香宮邸をめぐる建築素材と人びと 2019年7月20日~9月23日(62日)
アジアのイメージ—日本美術の「東洋憧憬」 2019年10月12日~2020年1月13日(80日)

2020 令和2年

北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック展 アール・デコのガラス モダン・エレガンスの美
2020年2月1日~4月7日(63日/平成31年度中は56日予定のうち、開催は26日間)
※2020年2月29日~4月7日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止
建築をみる2020 東京モダン生活(ライブ) 東京都コレクションにみる1930年代
2020年6月1日~9月27日(111日)
※2020年4月18日~6月23日より会期変更 4月18日~5月31日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止
生命の庭—8人の現代作家が見つけた小宇宙 2020年10月17日~2021年1月12日(75日)

2021 令和3年

20世紀のポスター[図像と文字の風景]—ビジュアルコミュニケーションは可能か?
2021年1月30日~4月11日(67日/令和2年度中は57日)



施設配置図

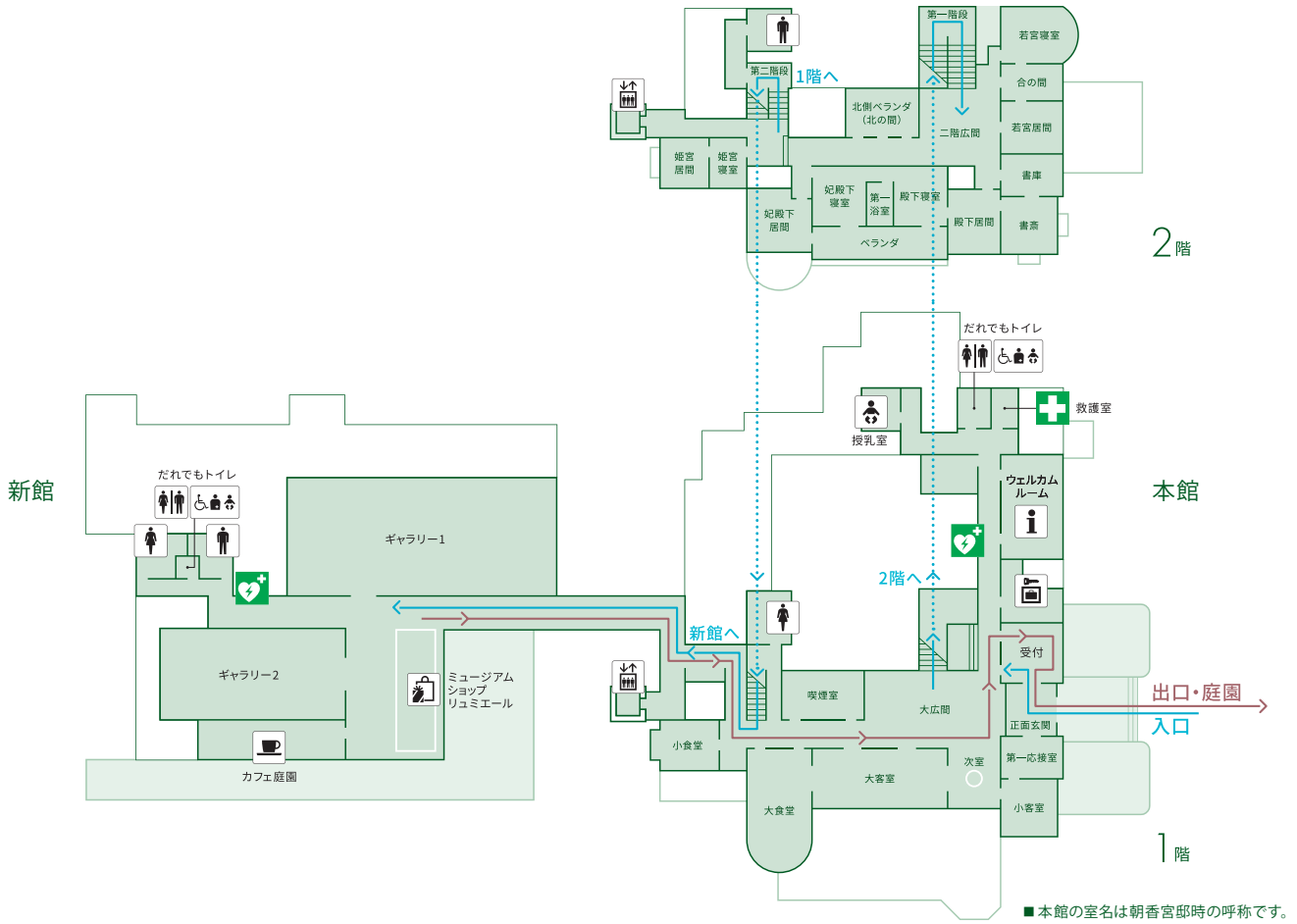


1. 本館 (旧朝香宮邸)
2. 新館
3. 庭園
4. チケット売場
5. ミュージアムショップ ヴェール(正門横)・リュミエール(新館)
6. レストラン デュパルク
7. カフェ庭園

…… バリアフリー園路



本館(旧朝香宮邸)・新館



茶室

